

令和4年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	5.7	9.1	22	1	5
鴨川	新大宮バイパス線下	9.7	5.3	7.4	14	2	6.6
	加茂川橋	11	4.8	7.8	30	5	14.3
	学校橋	13	5.3	8.8	16	4	11
	中土手橋	11	4.8	7.8	39	7	17.2
	さくら草橋	12	3.7	7.8	24	4	11
鴻沼川	櫛引橋	9.8	3.3	7.1	21	3	9
	霧敷橋	17	10	13	5	1	3
	新開橋	11	6	8.6	17	4	9
笹目川	市立浦和南高校脇	9.3	4.3	6.6	18	3	8.1
藤右衛門川	柳橋	9.9	4.2	7.0	13	2	6
芝川	船橋	11	4.2	7.1	24	2	9
	境橋	11	5.6	6.9	10	3	7
	大道橋	10	4.3	6.1	35	5	15
	八丁橋	12	4.6	6.8	26	5	15
深作川	宮ヶ谷塔橋	14	5.9	8.4	49	8	22
綾瀬川	高野橋	11	5.5	7.8	29	3	13
	戸井橋	10	5.1	7.7	31	7	15
	啜橋	12	6.4	8.4	28	4	15.5
元荒川	城北大橋	10	6	7.9	18	2	10
	新曲輪橋	11	6.4	8.5	32	3	11
	永代橋	11	5.9	8.6	28	1	10
古隅田川	城殿宮橋	10	3.4	6.5	22	8	13

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。